幸手傾聴ボランティア・ピース　定例会レジメ

2022年3月度　定例会

日　時　　3月14日（月）　13：30～
会　場　　ウェルス幸手（調理実習室）
司　会　　ｙｓ

1. 定例会
   1）連絡事項・活動報告
   2）決算準備とこれからのピースについて座談会
2. 今後の予定
   1）4／11（月）第16回通常総会（第1会議室予定）
   2）5／16（月）タッピングタッチ（M先生）
   3）6／20（月）ピアサポート（Ｓさん）
3. お知らせ
   1）レジメが社協のホームページのボランティアガイドから閲覧できるようになったので
      レジメには個人名を表示しないことにした。
   2）新規「電話での傾聴」希望者3名　各担当も決まる。

◎2月度議事録
   1）2月度定例会参加者　16名
   2）22年度年間活動計画作成
      皆さんにご協力いただき年間活動予定表が出来ました。

4月　総　会	5月　タッピングタッチ
6月　ピアサポート	7月　健康増進課　出前講座
8月　バザー　お茶会	9月　ＡＥＤ講習
10月　健康体操	11月　養成講座
12月　手話ダンス　忘年会	1月　優しいワーク
2月　認知症声掛け訓練	3月　決算準備

   3）22年度の役員決まりました
      個人情報で名前を載せられないのが残念です。

※今月のことば　「月刊ボランティア1月号」より

◎認知症の母に怒ってしまう

50代の独身女性　80代後半の両親と暮らしています。母ですが、認知症の症状が始まってから数年経過し、私は、認知症に関する新聞記事や本を読み、頭では理解しているつもりですが、母に対するいら立ちが収まりません。粗相をした母に対して、泣きながら責め続けた事もあります。

（協会の考え）

ご本人は、新聞記事や本などを読み、認知症のことを理解しているつもりとのことですが、認知症について何を理解しているのでしょう。認知症高齢者を介護する介護家族にとって、大事なことは、認知症の病理学的なことを知ることではなく、認知症の人にいかに関わるかという関わり方のコツを知ることです。その関わりは、相手を、たとえ認知症であろうとも、あるいは、家族であろうとも、一人の人として認めながら、優しく、丁寧に関わることです。　家の中で、認知症の人を介護する（面倒を見る）場合には、これまでと違って、認知症の人と一緒に暮らす新しい（これまでとは異なる）世界に生きるという価値観の大きな転換が必要です。